

生産管理論 A**生産管理論 I****Production Control Management A**

NISHIO Atsuto

西尾 篤人

■授業の目的

生産管理の概念は単に財の生産だけでなく、サービス産業でもサービスの提供という観点から大いに適用されている。講義では、財・サービスの生産過程で考慮される条件・要点等を、生産者の立場からだけでなく、C S (Customer Satisfaction) に見られるように利用者（消費者）の立場からも検討する。講義では、計画（化）・実施・統制という一連の流れの中で生産管理の概念を明確にするとともに、各論である需要予測、製品計画、資材管理、設備管理の概念を紹介する。

■授業の到達目標

生産管理の基本を理解し、日々発生している社会事象や経済事象が生産管理のどの理論で説明できるかが理解できる。

■授業計画**1 ガイダンス・生産管理とは**

生産および管理の基本概念を紹介しながら、社会科学分野での生産管理の意義を解説する。また、講義の進め方、評価方法、受講に当たって心がけて欲しい点などを説明する。

2 生産計画（1）

生産管理の一つの局面である生産計画をP D C Aに関連付けて解説する。

3 生産計画（2）

生産計画の種類(長期生産計画、期間生産計画、月次生産計画、日程計画)およびその内容を解説する。

4 生産統制

生産管理の一つの局面である生産統制(control)およびその活動内容、緩衝機能、遅延対策などを解説する。

5 需要予測（1）

需要予測の必要性、変動要因などを解説する。

6 需要予測（2）

需要変動のタイプ、予測手法などを解説する。

7 製品計画（1）

製品計画の必要性を開発者利益を中心に解説する。

8 製品計画（2）

ブランドロイヤリティなど、「良い製品・サービスとは何か」について解説する。

9 資材管理（1）

資材管理の基本業務である購買・外注業務について購買業務の流れ、外注の必要性などを解説する。

10 資材管理（2）

資材管理の基本業務である受け入れ検査業務について、検査の必要性、検査の種類などを解説する。

11 資材管理（3）

資材管理の基本業務である保管業務および運搬業務について、発注方式と在庫量との関係、保管方式、運搬方式などを解説する。

12 設備管理（1）

設備管理の必要性、保全活動などを解説する。

13 設備管理（2）

レイアウト、マテリアル・ハンドリングについて設備管理の立場から解説する。

14 新しい生産システム

近年現れた新しい生産管理システムを紹介する。

15 まとめ

生産管理の全体的な枠組みを整理する。試験を実施する。
履修者数が少ない場合、期末試験を実施する。

■授業の方法

計画(化)ー実施ーコントロールという管理のサイクルを基本にして、生産計画・生産統制からなる生産管理の総論を解説し、各論としての需要予測、製品計画、資材管理、設備管理の基本を紹介する。その中で、現実に経済事象・社会事象として発生している問題が、生産管理ではどのように説明できるかを解説する。授業計画に沿って、テキスト、PowerPoint を利用しながら講義を進める。また、授業開始に当たっては、その週に起きた生産管理関連の経済・社会問題を紹介する。受講者が文系の学生であることを意識しながら講義を進める。
講義中は、携帯やスマートフォン等の電源は切ってください。

■予習・復習

予習・復習のために、講義の資料は、<http://www.ner.takushoku-u.ac.jp/anishio/index.html> で公開しています。予習をしているという前提で講義を進める。したがって、PowerPoint のスライドの切り替えは可能な限りゆっくり行うつもりであるが、スライド内容はテキストの要約なので、各自事前にテキストを確認し受講して欲しい。

■成績評価の方法

学期試験の結果を中心に評価する。したがって、学期試験を受験していることが単位取得の前提である。
試験問題は、テキストを単に転記するのではなく、現実の経済・社会問題と対応させながら解答する問題を取り入れてある。
試験は黒のボールペンか万年筆で解答してもらいます(鉛筆は不可です)。参考資料はテキストおよび自筆ノートです。

■教科書・参考書

教科書：西尾篤人著『生産管理論』（創成社）

■関連する科目

経営組織論、経営学総論、経営管理論、経営科学